
砂崎 知子（箏） Tomoko Sunazaki

岡山市出身。東京藝術大学大学院修了。

東京藝術大学非常勤講師、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学邦楽科客員教授を歴任。

文化庁芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞、伝統文化ポーラ賞優秀賞、山陽学園オリーブグリーン賞受賞。

2006年開軒40周年記念リサイタルを国立劇場にて開催。2007年より全国ツアーで国内29カ所を廻る。

1975年「琴ヴィヴァルディ四季」（東芝EMI）で40万枚のレコードを売り上げ、CD化に至る。1989年

ビクターよりソロアルバム「ベストテイク」発売。2007年から日本コロムビアより宮城道雄作品集シリーズ

「春の海」「水の変態」「越天楽変奏曲」を順次発売、純邦楽CDランキング1位を獲得。2016年5月に砂崎知子作品集CDを発売。

現在：全国小中学生箏曲コンクール、全国高校生邦楽コンクール審査員。NHK TV「にっぽんの芸能」、FM

「邦楽百番」等に多数出演。生田流箏曲箏道音楽院代表。（東京本部、千葉・大阪・岡山・広島・徳島各支部）

オフィシャルサイト <http://so-do.jp>

高畠 一郎（箏・三絃・十七絃） Ichiro Takabatake

神奈川県出身。伯母より手ほどきを受け、後に生田流箏曲演奏家 砂崎知子に師事。東京藝術大学音楽学部

邦楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。2012年に開催した箏リサイタル「ひむかしとりかふ」に対し、

文化庁芸術祭賞〈優秀賞〉を受賞。15年に市川市民芸術文化奨励賞を受賞し、16年4月に本賞の受賞と箏道

音楽院副代表就任を記念した箏リサイタル開催。NHK「芸能花舞台」やテレビ朝日「題名のない音楽会」等の

テレビやラジオに出演。多くの海外公演、洋楽・雅楽・アジア民族音楽とのコラボレーションや、リサイタル

賛助出演、独自のカリキュラムでの授業や講習会、各種音楽監修等、幅広く活動する。

現在：生田流箏曲箏道音楽院副代表兼千葉支部長（市川市、広島市、呉市、福岡市）、砂崎知子と琴ニュー

アンサンブル団員、森の会会員、日本三曲協会会員、立正大学非常勤講師。

（平成30年8月現在・転載禁止）